

たつのまち

No.99

議会だより



思いをとどける
未来をつくる！



Center of Japan

日本のと真ん中
信州辰野町



わらにお作り(沢底)
いいまちたつの知らせ隊

令和7年9月定例会 令和6年度決算認定 P 02

二十歳のつどい参加者 町民の声・議会アンケート P 16

委員会レポート	P 04
タウンミーティング	P 08
一般質問	P 09



辰野町議会
ホームページ



辰野町議会
Facebook



辰野町議会
YouTube

7月臨時会 9月定例会

全議案
認定・可決・同意

第6回 臨時会 7月22日

- 令和7年度辰野町一般会計補正予算(第3号)
補正額1,733万円 増額
ほたるマイカードポイント4倍キャンペーン事業負担金、鳥獣被害対策ほか



第7回 定例会 9月1日～9月18日

決算・補正予算等25議案、陳情、議員提出議案、報告事項

令和6年度決算（総額179億363万円）

決算概要

(千円単位は四捨五入)

区分	歳入総額	歳出総額	形式収支
一般会計	106億 307万円	101億4,323万円	4億5,984万円
特別会計	78億9,931万円	77億6,040万円	1億3,891万円
合計	185億 238万円	179億 363万円	5億9,875万円

※特別会計のうち上水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計は、収益的収支額(税抜き)を集計。

一般会計歳出に関する主な質疑

(特別会計は、各常任委員会のページをご覧ください)

■ 総務費

- 問** 地域おこし協力隊サポート業務委託料とは。
- 答** 新しく入ってきた協力隊員に、元協力隊員で町の事情が分かっている方にサポートを依頼。
- 問** キャッシュレス決済の利用状況は。
- 答** 令和7年3月までに22.7%の利用、コンビニ交付は年間23.4%。

■ 民生費

- 問** 生活困窮者就労準備支援事業の実施状況は。
- 答** 99件の相談があり、22名の継続支援を行っている。

■ 衛生費

- 問** ゼロカーボン啓発事業の進捗状況は。
- 答** CO₂排出量削減の年間目標165.6tに対して達成率は15.1%。図書館や中学校、中央保育園等のLED化改修工事も進んでいる。

■ 農林水産業費

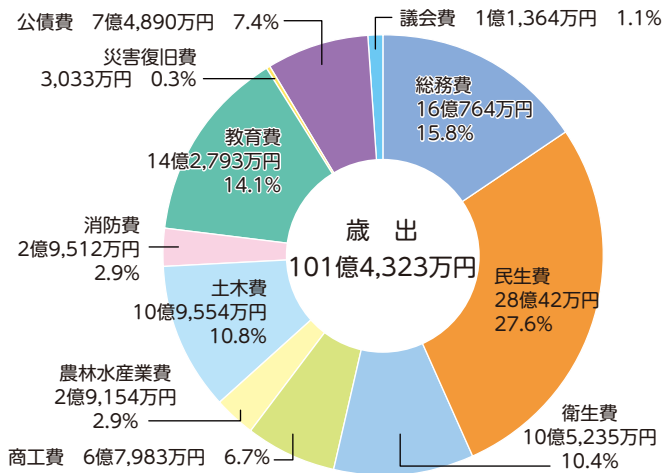
- 問** かやぶきの館の経営状況は。
- 答** 令和6年度の決算では収入が増え支出が減っていることは評価できるが、高額な指定管理料をカバーできるまでの黒字は見込めない状況。

■ 土木費

- 問** 橋梁点検の実施状況は。
- 答** 町内281橋梁を5年に分けて繰り返し実施している。

一般会計歳出目的別内訳

(千円単位四捨五入のため、合計は一致しません)



■ 商工費

- 問** ジャパンアルプスサイクリングロードの案内看板設置工事によって道路の整備を進めているが、上伊那全体ではサイクルツーリズムに積極的なのか。
- 答** 市町村間の考え方に違いがある。上伊那広域でツアーを組んでいるが、まだ地域に浸透していない感がある。

■ 教育費

- 問** 学校情報システムリース料が5年間で約1億5,000万円と高額だが。
- 答** GIGAスクール構想の制度設計は、小規模自治体にとって負担が大きくなっている。

賛否の分かれた議案

議案 第18号

令和7年度辰野町民会館ホール舞台照明設備改修工事請負契約について

舞台照明機器約160台をLED化、破損していたスポットライトの入替工事 2億8,600万円

【即決に異議(吉澤)】随意契約、1社見積もり、契約金額の妥当性などについて十分な検証が必要である。できるだけ調べて慎重に審議する必要があるため、本議案は委員会に付託するように提案する。

委員会付託
することに

賛成 5 林、吉澤、栗林、高木、本田

反対 8 樋口、牛丸、古村、松澤、小澤、向山、小林、津谷

【議案に反対意見(吉澤)】随意契約で良いのか、1社見積りで良いのか、2億8,600万円の妥当性を誰がどうやってチェックしたのか、明らかになっていない。本件は否決し、町側として再考し出し直しを求める。

議案に

賛成 9 樋口、牛丸、古村、松澤、小澤、本田、向山、小林、津谷

反対 4 林、吉澤、栗林、高木



その他 主な議案

・令和7年度一般会計補正予算(第4号)	庁舎一階事務室の空調設備3台更新工事 650万円
・令和7年度一般会計補正予算(第5号)	定額減税補足給付金、中央保育園照明LED化改修工事増額、松枯損木処理業務委託料ほか 8,776万7千円
・令和7年度一般会計補正予算(第6号)	女性のテレワーク就業支援事業 400万円
・辰野町課設置条例の改正	地方自治法の一部改正に伴う改正
・辰野町議会議員及び辰野町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正	公職選挙法施行令改正により、公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことに伴う改正
・令和7年度役場庁舎照明LED化改修工事請負契約	庁舎LED化改修工事747台分 4,979万7千円
・令和7年度町民会館ホール天井改修工事請負契約	吊り天井、音響反射板、空調ダクト落下防止工事 5,005万円
・11月豪雨災害復旧事業伝兵衛井地区工事請負契約	管理道路及び水路の復旧工事 1億2,898万6千円
・辰野町固定資産評価審査委員会委員の選任	川村和康氏 選任(任期3年、4期目)
・辰野町教育委員会委員の任命	関 政彦氏 任命(任期4年、3期目)

請願・陳情審査

陳情 第8号

私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書について

提出者：中信地区私学助成推進協議会 会長：保木大典氏 意見書：提出なし

本会議／不採択

賛成 1 向山

反対12 樋口、林、牛丸、吉澤、古村、松澤、栗林、高木、小澤、本田、小林、津谷

(継続審査)

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める働きかけの陳情について

陳情 第7号

提出者：辰野町公立学校教職員組合 執行委員長：向山 悌氏

本会議／採 択

全会一致

意見書：提出あり

議員提出議案の審議

発議 第1号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出について

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

審 議／可 決

賛成12 樋口、林、牛丸、吉澤、古村、松澤、高木、小澤、本田、向山、小林、津谷

反対 1 栗林

報告事項

- ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和2年度から令和5年度財政指標等の修正について
- ・地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和6年度財政指標等の報告について
- ・専決処分の報告について（町が損害賠償の責を負う財物事故3件 賠償金額32万6,326円）

総務産業常任委員会

一般会計・特別会計決算審査 ～付託議案は全て認定・可決～

9月10日・11日・12日に町長・担当課職員出席のもとで審査し、12日に現場審査を行いました。

令和6年度 決算 審査

■辰野町一般会計歳入全部と歳出のうち議会費、総務費、衛生費(水道費)、農林水産費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、予備費

※4箇所の現場審査を実施したところ問題なく、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

■辰野町上水道事業会計決算

建設改良事業として、下横川簡易水道一ノ瀬配水池膜ろ過設備新設工事他3件。

配水施設改良事業では、国道153号拡幅工事水道管仮設工事他1件を実施。

令和6年4月1日から料金改定を実施し、施設の適正な維持管理を行った。

- ・収入総額 4億1,301万8千円
- ・支出総額 3億8,822万2千円
- ・収支差額 2,479万6千円の黒字決算

■辰野町上水道事業会計未処分利益剰余金の処分

未処分利益剰余金4,302万8,131円のうち900万円を資本金に組み入りたいとするもの。

■辰野町下水道事業会計決算

老朽施設等の更新工事で、荒神山下街路ポンプ場No.1

ポンプ他6箇所のマンホールポンプの更新及び8か所の監視計の更新、辰野中継ポンプ場流量計の更新を実施。

- ・収入総額 8億6,808万4千円
- ・支出総額 7億7,639万7千円
- ・収支差額 9,168万7千円の黒字決算

■辰野町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分

未処分利益剰余金9,168万7千円のうち8,228万8,313円を減債積立金に積み立てたいとするもの。

■辰野町地域情報告知システム特別会計決算

- ・収入総額 1,512万1千円
- ・支出総額 1,348万1千円
- ・差引金額 164万円の黒字決算

※特別会計決算の5議案は、採決の結果、全員一致で可決・認定すべきものと決しました。

条例 審査

■辰野町職員の育児休業等に関する条例及び辰野町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、条例の一部を改正したいとするもの。

※条例審査の1議案は、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

町長へ要望

■指定管理施設の有効利用を進めることについて

辰野町において公募により指定管理が行われているパークホテル、ふるさと農村公園、しだれ栗森林公園、湯にいくセンターは、多額の費用を投資して整備された一方で、いずれも老朽化の課題を抱えている。

ついては、指定管理者との十分な情報共有を図り、将来的な施設の存廃を含めた検討を早期に進めることを求める。

特にパークホテルについては、町民の福利厚生施設としての期待が高く、町と指定管理者が協力体制を構築し、おもてなしの心によるサービスの一層の向上と利用拡大を図られるよう要望する。

また、ふるさと農村公園の中心施設である「かやぶきの館」については、立地条件やかやぶき屋根の葺き替え等、施設特有の課題を抱えていることから、今後のあり方を検討する必要がある。そのため、地域住民や町民の意見を集約し、十分な時間を確保するためにも、早期に検討に着手することを求める。

町長の答弁 町が指定管理制度を活用して運営している施設は、建設から年数を経て老朽化が進んでおり、維持管理費の増加や安全確保、利用ニーズの変化などへの対応が課題。今後は指定管理制度の継続活用に加え、PFI制度導入や民間活力の活用など多角的な検討を行い、単なるコスト削減にとどまらず、利用者の利便性や地域全体の持続的な発展に資する施設運営を目指す。

特にパークホテルやかやぶきの館などでは、利用者満足度の向上とともに、老朽設備の更新や財政的課題への対応が必要である。そのため、指定管理者による修繕の工夫、経費節減、地域連携による収入確保を進めるとともに、町や関係団体との意見交換を重ね、指定管理者とも十分な情報共有を図りながら持続可能な運営方法を検討していく。

現場審査

実施された主な事業箇所を審査し、いずれも認定すべきものと決しました。

■ 庁舎一階屋根防水改修工事

・決算額 3,454万円

太陽光パネル架台設置のための基礎工事。



■ 湯にいくセンター空調設備更新工事

・決算額 638万円

老朽化した館内の冷暖房設備4台の交換。



■ 樹種転換事業補助金 新町地区

・決算額 694万800円

松枯れ被害拡大防止のため、アカマツをカラマツとコナラに転換する事業。



■ 国庫補助道路メンテナンス事業北の沢橋補修工事

・決算額 1,732万5千円

老朽化によるアスファルトひび割れ補修工事。



総務産業常任委員会研修等

町の課題解決を目的に研修等を実施

町の地域間交流拠点、産直品の販売拠点等の整備について

日 時：令和7年8月5日（火）10:30～12:30

場 所：長野大学6号館4階 6-406室

道の駅として全国有数の「川場田園プラザ」の整備に当初から関わり、上田市近在の道の駅にも携わっている長野大学の熊谷圭介教授の講義を受けました。



辰野町商工会との「辰野町の産業振興に関する意見交換会」

日 時：令和7年8月19日（火）15:00～17:00

場 所：辰野町商工会事務所 会議室

商工会の役職員と若手商工会員出席の下、「辰野町が事業活動の場として選ばれる理由、選ばれない理由」「6次産業化の取り組みのバックアップについて」の2テーマで、状況・課題について意見交換しました。

福祉教育常任委員会

一般会計・特別会計決算審査 ～付託議案は全て認定～

9月10日・11日・12日に教育長・担当課職員出席のもとで審査し、12日に現場審査を行いました。

令和6年度 決算 審査

■辰野町一般会計歳出のうち民生費、衛生費(水道費を除く)、教育費

※4箇所の現場審査を実施したところ、問題なく、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

■辰野町国民健康保険特別会計決算

社会保険への加入と後期高齢者医療への移行を主な理由とし、加入世帯・人数共に年々減少しているものの、1人当たりの医療費は増加しており、長野県内77市町村中29位と高額出費が続いている。

- ・歳入総額 17億1,207万円
- ・歳出総額 17億933万3千円
- ・差引金額 273万7千円を翌年度に繰り越し

■辰野町国民健康保険診療所特別会計決算

歳入は、第一診療所と川島診療所共に休止状態のため診療報酬等がなく前年度比69%減。歳出は、診療所は休止中だが、土地賃借料や水道光熱費等の支払いは継続中。

問 建物の取り壊しと土地返却の予定については。

答 令和7年度中に産業廃棄物の処理、令和8年度中に建物の取り壊しと地権者への土地返還を予定している。

- ・歳入総額 337万7千円
- ・歳出総額 75万4千円
- ・差引金額 262万3千円を翌年度に繰り越し

■辰野町後期高齢者医療特別会計決算

一般後期高齢者広域連合保険料は前年比12.7%増。年金から徴収される特別徴収保険料は20.4%増、普通徴収保険料は19.2%増、収納率は99.9%。

- ・歳入総額 3億7,450万2千円
- ・歳出総額 3億7,238万8千円
- ・差引金額 211万4千円を翌年度に繰り越し

■辰野病院事業会計決算

令和6年度の入院患者数は目標を上回り、救急車来院患者数は目標を大きく上回る成果を上げたが、外来患者数や健康診断と人間ドック受診件数は目標を下回ったと報告された。

委員会では、訪問診療の拡充や地域医療における病院の役割について議論された。スタッフの努力により利用者への対応を評価する声も聞かれる。

- ・収益的収入 23億1,912万8千円
- ・収益的支出 23億6,274万円
- ・収支差額 4,361万2千円の赤字決算

■辰野町介護保険特別会計決算

介護報酬改定が行われたため保険給付費全体の支出が前年度比で約6,600万円増加した。

- ・歳入総額 21億9,400万8千円
- ・歳出総額 21億3,708万8千円
- ・差引金額 5,692万円を翌年度に繰り越し

※特別会計決算の5議案は、採決の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

陳 情 審 査

■陳情第8号「私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書」について

趣旨 私立高等学校への経常費補助金、教育条件改善のために私立高等学校への教育施設・機器補助、私立学校の募集・広報活動に対して支援・協力を求めるもの。

○主な意見

- ・私立高等学校が中信地区に限定されている
- ・生徒への補助ではなく学校への補助である
- ・誰に対して何を求めているのか主旨がわからない
- ・今の段階では判断するに至らない

※採決の結果、反対5、棄権1で、不採択とすべきと決しました。

■継続審査の6月定例会 陳情第7号「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める働きかけの陳情について

趣旨 子どもたちのゆたかな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善、および学習指導要領の内容の精選等を行うこと。

継続審査の過程において、8月4日、午前10:00から福祉教育常任委員会室において辰野町公立学校教職員組合執行委員長の向山悌氏より説明を受けた。



○主な意見

- ・週5日制になっても授業数は変わらず、子どもと教職員双方に大きな負担となっている
- ・中学校教科の一部が小学校へ移行等、教育内容が低年齢化している
- ・授業数は変わらないが教科が増えている
- ・教職員はゆとりを持って子どもに対応してほしい
- ・内容は把握したが意見書を出すほどではない

※採決の結果、賛成5、反対1で採択すべきものとし、意見書を提出すべきものと決しました。

現場審査

実施された主な事業箇所を審査し、いずれも認定すべきものと決しました。

■病児・病後児保育施設建設工事「ぴっかりハウス」

・決算額 7,978万3千円

病気の治療中や回復期の子どもを一時的に預けられる保育施設。現在の1日平均利用者数は1～2人。



■辰野中学校生徒玄関西側舗装工事

・決算額 435万6千円

未舗装で降雨時の登下校に支障があり、改善要望が出ていた箇所。勾配がなく水はけの悪い部分に浸透性アスファルトを採用。



色の濃い箇所が浸透性アスファルト

■辰野中学校第二体育館照明LED化改修工事

・決算額 691万9千円

町の地球温暖化対策実行計画に沿って、蛍光灯やメタルハライドランプをLED等に変更し、高照度・省エネ・長寿命化を図るために実施。



■辰野西小学校体育館長寿命化工事

・決算額 4億2,468万8千円

今後30年程度の使用を想定した長寿命化改修工事。停電時に使用可能なガスヒートポンプエアコンを採用。室外機には自家発電機能がある。



町長へ要望

■単純な経済的支援よりも、複雑な事情で困難を抱えている家庭への支援を求める声が近年増えている。出生数は少ないものの、離婚の増加や問題を抱えた家庭の転入などに支援が必要なケースが出てきている。個人情報保護の観点から対応が難しく長期化するのが現状で、負担が大きくなっている「こども家庭センター」へ専門性のある人材を更に確保し、住民へのサポート充実をより深めていくことを要望する。

町長の答弁 子ども家庭センターでは、昨今の子どもや家庭が抱える複雑・多様化する課題に的確に対応するため、人材の確保と、きめ細やかな支援体制の整備が極めて重要な課題であると認識している。保健師や社会福祉士などの募集を進めるとともに、既存職員への研修機会の充実や、外部専門機関との支援充実に向け連携強化に取り組みたい。今後も、センター機能を十分に発揮できるよう、関係機関との連携の強化、子どもや家庭状況に応じた切れ目のない支援の提供ができるよう体制整備を進める。

■町立辰野病院は、より町民ニーズに寄り添い目標達成に向け職員ひとりひとりが強い気持ちで取り組むことと、経営強化プランに沿った健全な経営を達成することを要望する。

町長の答弁 辰野病院では、令和5年度から令和9年度を対象期間とする町立辰野病院経営強化プランを令和5年度に策定し、毎年、実施状況について点検・評価を行っている。

経営安定に向けてさまざまな取り組みを進めているが、人件費上昇や物価高騰、人口減少やコロナ禍からの受診控え等の影響により、大変厳しい経営状況が続いている。

令和6年度より、収益改善を見据えて病床機能再編を検討し、今年度、地域包括ケア病床の増床を実施した。今後も地域ニーズや取り組み内容の分析・検証を行い、経営強化プラン目標達成に向け取り組んでいく。

福祉教育常任委員会研修

療育について研修を実施

療育とは「医療」と「教育」を合わせた言葉。心身に障害のある子供やその可能性のある子供が、自立した生活を送れ、個々の発達段階や障害特性に合わせて行う発達支援のこと。将来的な社会参加や自立を目的に、個別・集団でのトレーニングや、家族支援、地域支援など、幅広いサポートが行われます。

「LD等通級指導教室」辰野西小学校でご担当の先生から

日時：令和7年7月30日（水）13:30～15:00

場所：辰野西小学校 会議室

療育について研修を受け、通級指導教室について意見交換を行いました。



町民と議員の **タウンミーティング** 開催しました！

赤羽区

開催日時 7月26日(土) 17:00
参加人数 区民23人 議員12人



会場：赤羽コミュニティセンター

皆様から寄せられたご意見は以下のような内容です。

辰野病院の医師不足と財政問題

住民からの質問に対し、議長は外科の常勤医不在など医師不足の現状と、国からの地方交付税等約4億円を財政支援に充当している財務状況を説明しました。

学校のあり方

少子化に伴う検討が進められている中、住民からは、小学校3校が一つになる可能性について、地域や子どもの声をしっかり聞いて進めるべきとの要望が出されました。

企業の焼却炉問題

近隣企業の焼却炉から出る煙と臭いについての苦情があり、議員からは調査結果と今後の対応について報告しました。

消防団の出動体制

火災出動に時間がかかり過ぎではないかのご意見には、団員の多くが町外勤務のため、昼間の出動が難しい現状についての説明をしました。

防災無線

防災無線が聞こえにくいという指摘があり、議員からはスピーカーを増やすことの難しさや、新たな情報伝達手段を構築中であることを伝えました。

地元区長は、議員と区民の課題共有の良い場であると評価し、年2回の開催希望を述べられました。また区長と議員の連携強化の必要性にも言及されました。

羽場区

開催日時 8月2日(土) 17:00
参加人数 区民19人 議員14人

以下のようなテーマで活発な議論が交わされました。

辰野病院の財政状況

年間4～5億円の一般会計からの繰入について質問があり、将来的な運営形態の見直しの必要性が議論されました。議員からは、国からの交付税の仕組みや全国的な病院経営の難しさ、医師確保の課題などを説明しました。

小学生の通学時の負担と安全性

水筒やカバンの重さ、熱中症対策も含めた負担軽減の必要性、通学路（特に駅から国道まで）の危険性が指摘されました。カバンの選択肢を増やすなどの学校での取り組み事例が紹介され、今後は各学校での対応状況の確認や、地域との協議を進めることを確認しました。

学校のあり方

小中学校のあり方検討委員会による南小学校と辰野西小学校の統合に関する懸念が示されました。人口減少の現状を踏まえた議論の必要性や、一方で人口増加策の重要性も指摘されました。

有害鳥獣(熊)対策

猟友会員への出動手当の不足が指摘され、今年から支給が始まったことや、法改正の状況を説明しました。

地元区長からは多岐にわたる意見交換への感謝と、今後も区民の声を聞く機会を設けていく意向が示されました。



会場：羽場コミュニティセンター

10月以降のタウンミーティング

北大出区

10月11日(土) 18:00～
会場：北大出ふれあいセンター

小野区

11月14日(金) 18:30～
会場：小野農民研修センター

新町区

11月20日(木) 18:30～
会場：新町コミュニティセンター

詳細は、町HP内の辰野町議会のページに掲載いたします。次回開催内容が決定次第、新聞などで告知いたします。

フリースクール利用料の補助制度をつくる考えは

たかぎ ちか
高木 智香**教育長** 利用者の実態を把握し、あり方を考える**問** フリースクールを利用する町内の児童生徒数は。**課長** 町内のフリースクールを利用しているのは数名。町外の利用者数は把握していない。

町民への相談支援体制の強化と改善を

問 福祉サービスの各種申請が窓口でスムーズにできなかった事例があるが、その理由と改善策は。**課長** 申請には、相談者が事前に準備したり記入するものが多いため、丁寧な説明が必要。窓口対応や説明が不十分だったことを反省し、今後は相談者の心情に寄り添いながら、丁寧な説明を心掛ける。

窓口の様子

問 相談業務の基本姿勢は。**課長** 傾聴と受容と共感。また、把握できていない制度の相談があった場合は、制度が分かる職員と連携して対応したりするなど、後日必ず連絡する。

着衣水泳の実施を

問 小中学校で着衣水泳を実施する考えは。**教育長** 学校の諸条件が許せば、着衣水泳は有意義とされている。以前から東小では3年生以上が体験しているが、衛生面からプール納めの日に実施している。夏休みにプール開放している南小では難しいが、事故場면을想定した対応力を育てる学習になる。実施するのであれば、プール納めの日と考える。**問** 親子で着衣水泳の体験会を実施する考えは。**教育長** 着衣水泳の体験会はハードルが高いと考える。**意見** 県内には水難事故をきっかけに着衣水泳を実施している学校がある。小中学校で体験できるよう検討を。

新たな緊急通報サービスの料金見直しを

問 低所得者に配慮した料金設定の検討は。**課長** 機器の設置や月額料金の一部を町が負担する。全利用者一律での負担をお願いしたい。**問** 携帯電話のみ所持している低所得者の場合、毎月の負担額がほたるネットを利用していた時より高くなってしまふ。料金の見直しができないか。**課長** 固定電話、携帯電話の通信にかかる費用は個人負担。機器の設置に追加にかかる費用も個人負担と考える。

多文化共生社会への考え方は

むかいやま ひかる
向山 光**町長** 長期的な視点で支援をし、共に暮らしていける社会を**町長** 外国籍や外国にルーツがある人を地域の一員として受け入れ、尊重しあえる社会を目指す。

日本人ファーストという言葉の独り歩きへの懸念は

教育長 子どもたちが深く考えることなくこの言葉を発した時、新たな差別・偏見、いじめにつながりかねない。この言葉が学校内で広がらないように十分に注意を払う必要がある。

性犯罪・性暴力等の事案への対応は

教育長 わいせつ行為によって免許が失効し、その情報をデータベース化し採用時に確認するようになっても、不祥事が減らない。採用時に心の奥底まで推し量るのは難しい。学校現場から児童・生徒を性暴力から守ることを大事にしていきたい。**意見** 教育・保育現場に限らず、全ての大人が共有すべき課題。子どもからも、保護者からも、周りの大人からも通報できる制度をつくるべきである。

選択的夫婦別姓制度に対する町長の基本的認識は

町長 夫婦同姓を義務付けているのは日本だけである。自分の姓を大事にしたいという考えから、事実婚を選択し、選択的夫婦別姓の実現を目指している人の苦勞、取り組みを知り、制度として変えていかなければならないと

認識している。一方で、同じ苗字ゆえの一体感も大事であるとも考える。

夫婦別姓の方へのパートナーシップ制度適用は

町長 パートナーシップとの連携は、地方の個別の判断ではなく、国が共通する方針を出すべきと考える。**要望** 現実に不便を感じている国民・住民の思いに寄り添うよう、さらに研究することを求める。

小中高生向け「はじめての防衛白書」への対応は

教育長 あらゆる機関からの小中学校への文書は、必ず町教委を通して。町教委へ文書配付の照会があれば、内容を精査して判断する。**意見** 国防の基本である専守防衛、非核三原則、文民統制の記述がなくなった。慎重な対応を。

子ども向け『防衛白書』

予定した質問に関する意見

- ・平和行政について更なる継続した取り組みを。
- ・森林の多面的価値の維持について町民で共有を。



くりばやし としひこ
栗林 俊彦



新たな辰野町こども計画の概要と策定の進捗状況は

町長 安心して子育てができる環境を整えることを目指す

課長 こども計画のベースとなるアンケートを実施。パブリックコメントを実施後、年度内の完了を予定。

問 少子化対策・結婚支援を進めるためにベビーファースト運動や移住婚プロジェクトを実施する考えは。

課長 子供を生み育てなくなる社会の実現を目指し、妊産婦や子育て世帯が過ごしやすい環境づくりを推進する社会運動。有効性を見定めながら、近隣市町村の動向や状況を確認していきたい。移住婚プロジェクトは、移住希望者に対しサポートを行う相談員を確保することが大きな課題となっている。現段階では提案として受け止めたい。

辰野町が目指す教育ビジョン、将来像や目標は

問 町内の保育園を認定こども園に移行し幼児教育・就学前教育を充実する考えは。

課長 子育て世代の多様なニーズに応えるため、県内でも公立保育園を認定こども園へ移行する自治体が増えてきている。町内保育園では、希望するすべてのお子さんを第1希望の園で受け入れており、未満児保育や延長保育も充実している状況なので、現時点では認定こども園への移行は考えていない。

問 辰野町立「ほたる学園」構想（6・6制 施設分離

型保幼小中一貫教育）の実現に向けた検討課題は。

教育長 12年間という長期間の学び、連携の在り方を考えることになる。子供の発達段階と学びの充実、体験その他の関わりを含めさらに検討する必要がある。

問 両小野組合立「うとう学園」（保幼小中一貫校）に向けて辰野町からの働きかけは。

教育長 地域住民の声を聞くところからスタートし、具体的に進める段階においては、支援をしていく。

クールシェアと熱中症予防啓発活動を推進しては

課長 熱中症予防声掛けプロジェクトに登録する。さまざまなサポート

が受けられることで、さらなる熱中症予防に携わっていく。



ウォーターパーク跡地をアーバンスポーツイベントに貸し出し、競技の普及や地域活性化を推進しては

課長 令和5年度からは、地域おこし協力隊の発案により、施設を解体するまでの間、流水プールの部分をサバイバルゲーム場として利活用を行っている。



こばやし てるこ
小林テル子



令和5年5月有機農業推進のまち宣言後の状況は

町長 当初掲げた目標を目指し安定供給に向け進めている

課長 環境にやさしい農業に取り組む農家は69件、学校給食の地産地消率は20%、環境にやさしい農産物関係のふるさと納税返礼品は44品。

問 食の革命プロジェクト（以下PJ）の関係性は。

課長 食の革命PJのメンバーには、6次産業化を担っている生産者がいて、観光協会特産品等を作り出している。有機農業推進には重要な存在。

要望 辰野町で作られる野菜、加工品、特産品、有機農業推進のため、農業振興センターを活用し、地元の生産物が購入できる場所を作る検討を。

学校給食に提供する米・野菜の収穫確保状況は

問 お米の確保が厳しい昨今、令和7年度産から学校給食に有機米の提供が始まると認識していたが、確保状況は。

課長 環境にやさしい米の生産者5名の協力で令和7年12月～翌年2月まで有機米が確保できる予定。慣行米との価格補填を町が実施し、流通・保管はJA上伊那の協力が得られた。

要望 有機米給食期間に、生産者と子どもたちとの交流機会を。

問 学校給食の地場野菜提供方法は変更されたか。

課長 コーディネート業者は変更になったが、継続的に地場野菜の提供はできている。市場との価格補填は今年度も継続されている。

昭和橋の危険性と歩道の確保は

問 令和4年の中学生議会で昭和橋の危険性と歩道の設置要望があり、今年8月女団連から同様の危険性の指摘があった。3年経つが町の対応は。

課長 橋の架け替えと歩道の設置は、国の管轄で難しい。現在長寿命化の補修工事を実施中。工事後、注意喚起の看板を設置する予定。



歩道のない昭和橋

要望 町として県・国に歩道設置要望を。

学校あり方検討委員会では何を検討しているのか

教育長 辰野町の令和10年以降の学校のあり方を検討中。具体的計画は答申確定後、町全体で検討。

要望 学校保護者や子ども達の意見を聞く機会を。

ほたる祭りの活性化に向けて柔軟な発想で開催するための検討を

町長 単に蛸を観る祭りから何かを体験できる祭りを検討する

辰野高校との包括連携協定の締結は

問 締結するにあたり、課題の想定や、可能性は。

町長 再編整備計画に関する基準改定により、学校存続のための取り組みを早急に進める必要はある。未来会議で学校側と生徒数減少の見通しや入学者数の状況等の課題を共有し、議論を深める。他自治体の事例を参考にし、前向きに締結に向け議論する。

問 防災を軸とした包括連携協定の締結についてどう考えるか。

課長 防災を軸とした包括連携協定は特色ある地域連携につながる。辰野高校の施設活用方法や生徒と町との関わり方、災害時の関わり方には可能性がある。今後の協定内容の打ち合わせの中でこうした提言について議論する。

ほたる祭りの活性化に向けて体験型の取り組みは

問 ピッカリ踊りに観光客の飛び入り枠の新設は。

課長 昨年復活したピッカリ踊りは、今年は1,000名の申し込みがあり、雨天にもかかわらず750名が参加した。飛び入り参加枠については面白い企画。踊る場所の選定や振り付けの教え方、浴衣の手配など検討すべき点はあるが、実行委員会に提案してみたい。

つや あきら
津谷 彰



あさひ美術館を町民が鑑賞しやすい整備の推進は

課長 あさひ美術館は、東小北校舎3階の一室だけでなく校内各所に美術品を展示している。昨年度は160名を超える見学者があった。希望があれば他校や一般の方も見学可能だが、事前予約が必要。高齢者が3階まで上がることが課題であり、展示室の校内移動は必要だが、場所の確保や費用が課題。

地域行事や文化・芸術の継承の推進は

課長 育成会などで文化行事として、しめ縄作りやどんど焼きなどの継承に取り組んでいる。

子どもの減少や高齢化により行われなくなった伝統行事もあるが、郷土愛の醸成や地区交流の機会として継続を願っている。



ほたる祭り開会式の様子

町の将来を展望し魅力ある町づくりを進めるためには

町長 特色を活かし次世代につながる町を目指す

魅力ある町づくりの推進を

問 下辰野商店街の再興・JR辰野駅前振興計画についての考えは。

課長 新たな価値を見出し、心が通う場所、若い世代の人々が集える場づくりを進める可能性を考えていく。

問 指定管理者施設の今後の在り方は。

課長 指定管理制度の活用、PFI制度の活用、施設売却などを総合的に検討し、最適な方針を考えたい。

問 町の産業振興を捉えた多目的利活用拠点施設設置の考えは。

課長 施設の必要性を明確化すると共に町民ニーズを掴むことが重要。検討を要する。

物価高騰対策・生活支援対策は

問 町独自の対策はできないか。

課長 国の物価高騰給付金や生活支援給付金。農業関係では、生産資材高騰緊急対策事業助成金で対応したいと思うが、これらの給付金や助成金でなければ、町独自の助成金給付は難しい。

問 支援対策を望む町民の声に応える対話を目的とした町政懇談会の開催は。

課長 各区に町政懇談会を紹介している。コロナ前は開

催していたが、ここ数年は要請がない。懇談の場を期待し、今後も各区に呼びかけていきたい。

事業推進のための資金対策は

問 事業推進のための資金対策としての地方債活用の現状は。

課長 道路改修や公共施設の環境整備等、地方債を活用し事業を展開している。

問 辰野町のふるさと納税寄付金計画目標と納税寄付金の使途と今後の使い方計画は。

課長 ふるさと納税寄付金計画目標はない。納税寄付金の額が少なく、使い方の検討まで至っていない。

今年の有機農業の取り組みで特徴的なことは

問 有機農業推進の新規の取り組みは。

課長 信州の環境にやさしい農産物認証制度の取得に向けた勉強会の開催、認証取得者に対して直売所での販売手数料の補助、有機種子を栽培する会社との協力体制の構築等に取り組む。

はやし まさみ
林 政美



有機種子『ぼたんこしょう』ほ場



よしざわ みつ お
吉澤 光雄



地域・町民の熊対策に町の独自補助は

町長 取り組みを後押しするよう検討をすすめる

問 今年の熊出没数は、昨年の2倍で箕輪町の10倍。県の警報基準を上回り、街中にも出ている危険な状態という発信と対策強化が必要では。

町長 出没箇所の緊急点検や広報強化などに取組んでいる。人身事故を防ぐ為、対策を強める。

問 出没情報の正確な把握と、出来るだけ早く、確実に町民に伝わるよう改善を。

課長 町民には、役場、警察どちらかへ早期通報をお願いします。広報車での周知もしている。

問 電気柵などへの町の負担には交付税が来るので、支援を強めて欲しい。有害鳥獣と一体の熊対策が有効で、町内先進地で効果を上げている。町がリードし、区や住民と地域単位の対策を。

課長 地域ごとの対策は重要。町内先進地区の教訓に学び、生かしていきたい。

住民検診負担額の見直しは

問 今回の見直しで負担増になる町民が3,200人。町の負担軽減は年間85万円。今の受診率は目標の半分程度。物価高で苦しい折、また受診率を上げるために、負担増を避けて欲しい。

課長 健診委託料が上がり、負担のアンバランスがある

ため見直す。ご理解頂きたい。

町有地の雑草・樹木管理を

問 できるだけ苦情が出ない管理にするため、作業委託を増やすよう予算を増やせないか。

課長 できるだけ職員で対応しているが、一部で対応が遅れお詫びする。スケジュールや体制の見直しと適切な予算配分を模索したい。

アラパ活性化は

問 ボルダリングはアラパの魅力だが、町民利用は1日平均3人と少なくもったいない。利用を増やすよう、料金を見直しては。

課長 利用料は近隣施設より安い。管理業者は、今より低料金での運営は厳しいとの見解。



アラパボルダリング



まつざわ ちよ こ
松澤 千代子



町へ届く「町長への声」の現状は

町長 記名があれば回答を作成し郵送している

問 公開を望む声に対応は。

課長 無記名の場合は情報のみ頂戴し所管する課と共有している。今後はポスト備え付けの用紙に住所氏名公開可否の欄を設け、公開可否の確認を更に行った上で投稿情報の公開を前向きに考えていく。

荒神山マレット場の整備は

問 マレット愛好者の高齢化問題と整備は。

課長 スポーツ協会に加入しているマレットゴルフ協会の皆さんのきめ細かなコース整備に感謝している。町内の他のマレットチームも含めて話し合い、コース存続のために周辺の草刈り等は公園管理係で行うものとする。

通学路の見直しは

問 下田踏切周辺の安全は。

課長 県道与地辰野線下田踏切拡幅工事で踏切の1車

線は2車線になり、更に両側に歩道が付いたため、羽場駅側町道から県道への取り付けを踏切から離れた位置にした。安全対策として、えんじ色のカラーペイント等に表示してあるが外側線が途切れているため、早速その危険箇所に外側線を設置する。

企業誘致は

問 町が描く未来の商工業は。

町長 働く人すべてが楽しく生きがいや働きがいを持って仕事に打ち込める姿である。それが若者に夢や希望を持ってもらえるものと考えます。

課長 企業が利益を出すことは難しい上、今は人手不足や物価高騰、関税等の海外情勢など企業にとって難題が山積している。そのため、企業相談員を配置して企業を応援している。

たつのパークホテルの指定管理は

問 辰野町の観光事業について町民の声は。

課長 町民から届く声は責任をもって業者に伝えていく。自動精算機やカードキーを取り入れ、9月よりランチメニューもリニューアルして改革に取り組んでいる。

問 ホテル機能についての方針を把握しているか。

課長 必要に応じて改善指導を行っていく。



下田踏切取付道

エアコンの無い保育園遊戯室へのエアコン設置は

うしまる よし や
牛丸 圭也



町長 エアコン導入に向けて取り組んでいきたい

町内保育園のエアコン設置状況は

課長 全ての保育室及び給食室に設置済み。遊戯室は羽北保育園のみ。

問 エアコンのない遊戯室への設置検討は。

町長 地域の指定避難所でもあり防災の観点からも重要。整備の早期実現が重要だと考えている。

運行方式再検討後「おのりーな」の現状は

課長 ひと月当たりの利用者は30人ほど増え、1日平均は5人ほど。利用者数は増えているが、国補助金の交付要件を満たす数には至っていない。

問 今後の方針は。

課長 コストを抑制しつつ住民のニーズに答えられるよう柔軟な運行方法を模索していきたい。



町民会館ホールの車椅子席は少なくないか

課長 現在3席だがこれまで不足な状況は起こらなかった。必要な時には、最前からA・B・Cの3列、58席分の移動式座席を取り外し、車椅子席として対応する。

ホール車椅子席

クマ出没情報周知と対策は

問 LINEによる情報周知への基準と手順は。

課長 過去の情報は発信しない。痕跡は職員の現地確認が必要。目撃時は安全を確保し、目撃者の氏名と連絡先、日時、場所、クマの頭数や成獣か否か、また被害状況もあれば知らせてほしい。痕跡の現地確認への立ち合いにも協力してほしい。詳細内容は町公式サイトで周知していく。



6月7日小野区で目撃されたクマ

問 法改正で町長判断による猟銃を使ったクマの駆除が可能になったが、町の所感は。

課長 県が年内制作予定の銃猟発砲判断や住民避難等のマニュアルを参考に実施体制を検討する。

職員に対する不当な言動等への相談・対応策は

こむら みき お
古村 幹夫



町長 職員に接遇・クレーム対応研修を実施

保育園に設置されている110番非常通報装置の現状は

課長 設置業者廃業後に点検ができず、現在は安全面から接続停止中。早期に代替手段を研究し、必要な対策を講じる。



早期の装置改修を

災害対策基本法等の改正に伴い求められる、国との情報共有体制は

課長 長野県防災情報システムを通じて、県庁や上伊那地域振興局と情報共有体制を構築している。

このシステムで、早期情報発信や、避難物資受け入れルートの検討に活用していく。

問 高齢者や在宅避難者への福祉サービス提供はどのように考えるか。

課長 支えあいマップの整備継続と個別避難計画書の整

備に着手。災害派遣福祉チーム等と連携して災害ケースマネジメントに取り組む。

問 国が創設する、被災者援護協力団体の登録制度を活用し、NPOやボランティア団体との連携をどのように深めていくか。

課長 この制度は国から運用イメージが示された段階であり、詳細はまだ不明。上伊那地域では地域防災力向上のため、7月に上伊那災害時支援ネットワークが立ち上がり、参加団体を募集中。

災害対応力強化に向けて、指定避難所に避難所開設キットを導入する考えはないか

課長 近隣市町村の事例を研究し、訓練実績を通じて検討する。避難所の円滑な立ち上げは重要であり、前向きに取り組む方針。

問 より実践的な防災教育の導入が必要では。

課長 辰野中学校の避難訓練では、けが人対応や搜索活動など実践的訓練を実施。総合防災学習では日赤奉仕団や消防署員を講師に招き、グループワーク、ハザードマップ学習、AED体験などを行っている。今後は、避難所体験ゲームなど新たな視点も取り入れる必要があると考えている。



ひろし ひろみ
樋口 博美



公的な児童発達支援事業所の設置を

町長 必要性は感じている。場所、人材確保、育成等研究する

療育への取り組みは

問 0歳から小学校入学までの取り組みは。

課長 3歳までは乳幼児検診、その後は地域療育支援事業として保育士、心理士、巡回就学相談員が支援している。特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室などを体験しながら支援している。

問 小中学校での支援は。

課長 就学相談で伴走しながら、必要があれば医療機関との連携やスクールカウンセラー・心理士への相談、その他必要な支援へ繋げている。

課長 中学入学前に中学の教師や支援員が支援の内容を個々に確認し支援に繋げている。高校も同様。教育委員会に情報提供を行い、支援が継続される体制を取っている。

問 親子に寄り添う伴走者の役割と現状は。

課長 保健師は全ての乳幼児と保護者に関わり、成長過程を把握しながら伴走している。学校の様子や学びの場については教育関係者の協力のもと、支援をしている。こども家庭センターの体制整備に努めていく。

問 支援会議・支援計画の策定と支援は。

課長 支援会議は必要に応じて開催。こども家庭センタ

ーの設置により、サポートプラン（支援計画）作成が義務付けられている。

問 町内子どもの支援事業所利用状況は。

課長 児童発達支援の利用は10名中2名が、放課後デイの利用は32名中21名が、障害児相談支援の利用は54名中32名が町内事業所を利用している。保育所等訪問支援は5名全員が町外事業所を利用。

問 辰野町にはなぜ公的な支援事業者が無いのか。

課長 障害児福祉計画において国の目標は各市町村に1箇所。県の目標は各市町村又は各圏域に1箇所以上設置とある。必要性は感じている。保育園から小学校、中学校などライフステージが変わる時の支援は公的な事業所が担うと考えている。

要望 公的な児童発達支援事業所の設置を要望。

公的な発達支援事業所

箕輪町	若草園
南箕輪村	たけのこ園
伊那市	小鳩園
駒ヶ根市 (南部広域連合)	つくし園

その他 町民に選ばれる辰野病院への取り組み。



ほんだ こうよう
本田 光陽



AI(人工知能)活用のメリットは

町長 業務の効率化に期待。リスクも考慮した運用が必要

AIの更なる導入を

問 辰野町として、AIの活用が進むことによって、町民や職員側にどのような効果やメリットが期待できると考えているのか。

課長 人口減と職員数減少の中、事務窓口作業の効率化、生産性の向上が期待される。人口動態、各種サービスの利用状況のデータの処理分析により、どのようなサービスや施策が求められているかなど、適切な意思決定や行政サービスの提供が可能になる。

問 AI導入を進める際、職員のスキル向上や体制づくりについて、どのように進めていくか。

課長 総務省でもAIの積極的な活用を推奨しており、全国の自治体向けに、利用に関する指針や手引きを作成し、今後公表される。国の動向を注視しながら体制作りに取り組む。

多様なパートナーシップの支援は

問 若い世代の価値観が多様化し、必ずしも結婚を前提に家庭や子育てを考えない人が増えている。「子育てしやすいまち」としてのブランド強化には、今後も現在の結婚支援制度が最適と考えるか。フランスや北欧では非婚出産へのサポート制度が出生率維持に寄与しているが。

課長 引き続き、結婚相談事業としてマッチングシステム利用支援、相談体制、結婚生活支援事業のPRを続けていく。ヨーロッパで非婚出産が少子化に歯止めをかけている事実はある。日本では家制度が定着しており、社会的・文化的背景から結婚を推進する婚活事業が少子化対策として不適とは考えていない。

その他 旧川島小学校の今後の活用に関して、これまでどのような地域からのニーズが確認されているか。また跡地利用の一つとして、教育施設としての一時貸し出しというものを想定されているということだが、一時貸し出しとはどのようなものか。



機能別消防団員の募集を積極的に行う考えは

お ざ わ む つ み
小澤 睦美



町長 団員の募集を行なっているが、応募がない

消防ポンプ車配置はどのように決めているのか

問 先頃放水機能が壊れた町消防団第4分団の消防ポンプ車と第2分団の消防ポンプ車との配置換えがあったが、消防行政の運営を図ることを調査審議する消防委員会は承知していたのか。

課長 消防委員会には報告していない。配置先は、基本的には、買い替えを前提に行なっている。

農振除外による人口増加、地域活性化を

問 春日街道沿線等を農振除外により農地以外の土地に転用出来ないか。制度上難しいと聞か。

課長 農振除外については、地域計画に基づき地域の実情を踏まえつつ、対応を図って行きたい。役場産業振興課に相談して欲しい。

熊被害対策を

問 熊の目撃情報や痕跡の情報から熊の生息数は

課長 生息数の把握は個体数の調査を行っていないため正確には、把握していない。情報から同一個体が複数出没している可能性があると考え。

問 人と熊の生活圏を分ける「ゾーニング」設定が出来ないか。

課長 熊は広い行動範囲があり、設定した区分を越えて

移動し、計画とおりの管理が難しい等課題がある。課題を踏まえ、近隣自治体の情報収集を図り、熊が出にくい環境管理の推進に努めたい。

問 住宅地などの生活圏に侵入した熊からの危害を防ぐため市町村の判断で発砲が可能となった改正鳥獣保護管理法施行後の対応は

課長 長野県の緊急銃猟の発砲方法、住民の避難誘導、通行規制の判断の手順などを定めたマニュアルを参考に、町の関係団体、役場関係課と実施体制について協議していきたい。

旧川島小学校の利活用について応募状況は

副町長 現在募集期間中であり、詳細な数字の回答は控えるが、何件かの問い合わせと施設見学会に数件の参加があった。



旧川島小学校

ほたるの里中学生議会 2025

今年も議会主催の「ほたるの里中学生議会」を11月4日（火）辰野町役場議場で開催。辰野中学校から8名、両小野中学校から2名の中学生議員が登壇、質問。

中学生議会の準備として、政治の仕組みや議会についての講習を行いました。辰野中学校の「住み続けたい町調べ」と両小野中学校の「アントレプレナー活動」といった総合学習へ議員が参加し、生徒の理解をより深めるお手伝いをしています。



辰野中学3年生全員に講義



両小野中学アントレプレナー活動

※本番の様子は、次回100号の特集でお伝えします。

たつのまち 議会だより モニター募集!

議会が発行する広報紙「議会だより」の内容について、住民からの意見や要望を聴き、より分かりやすく、親しみやすく、読みやすい広報紙を目指します。

※詳細は、11月中旬に議会ホームページにて案内

12月定例会のご案内

開	会	12月 1日(月)
一 般 質 問		12月 8日(月)・ 9日(火)
委員会審査		12月10日(水)・11日(木)
閉	会	12月16日(火)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。
※請願・陳情についてはオンライン提出も可能となりました。



一般質問は役場町民ホールとYouTubeの生配信で視聴できます。

祝二十歳のつどい！

議員が二十歳のつどいで聞きました

これからみんなの声を聞きたい



町民の声

辰野町イメージキャラクター
びっかちゃん

テーマ 辰野町の魅力について



竹淵 琴美さん

町おこしに力を入れていることです。駅前の商店街にカフェなどができ始め、若い人が立ち寄れるような場所が増えてきました。辰野町に住みたいと思えるような施設をこれからも増やしていただきたい、辰野町を盛り上げていきたいです。



漆戸 くるみさん

緑がいっぱいで自然が豊かなところです。そのおかげで毎年沢山の蛍が飛んでいます。ほたる祭りの際に見に行きませんが、本当に綺麗に飛んでくれます。ほたる祭りも魅力の1つです。毎年多くの人が訪れてお祭りを楽しんでいます。



松田 馨司さん

辰野町の魅力で最初に感じるところは、自然が豊かな点です。中山間地で山に囲まれており、農地が一面に広がっています。毎年恒例のほたる祭りでは、発生状況をHPで確認する人も多く、ホテルの乱舞を予測して行くのも楽しみの1つです。



辰野町は、自然豊かで緑に溢れ、また、地域の方々は優しさで溢れている場所。学校に行く時や、帰り道、道を歩いていると「おはよう」や「おかえり」と声を掛けてもらえて、とても温かい、安心して暮らすことのできる場所です。もし何かあった時には、お互いが手を取り合って助け合うことのできる町です。

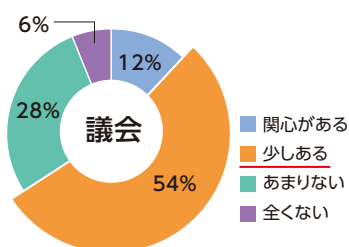
二十歳の言葉 代表者 平野 光希さん



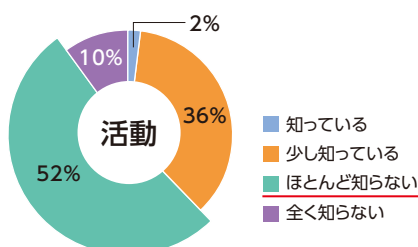
辰野町議会に関するアンケート

二十歳のつどいで50名にお聞きしました。

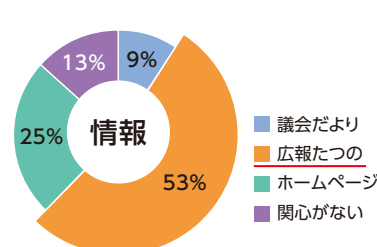
1. 町議会、政治や選挙に関心がありますか。



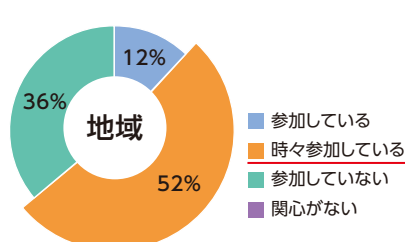
2. 議会の活動や議員の仕事を知っていますか。



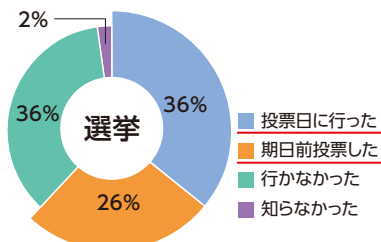
3. 議会の情報をどのような方法で得ていますか。



4. 地域活動(祭りやイベント)に参加していますか。



5. 今まで行われた選挙で投票へ行きましたか。



編集後記

二十歳を迎えたみなさんの希望に満ち溢れた姿に触れ、たくさんのエネルギーをいただきました。アンケートをうけて、若い方にもっと政治や町政に関心を持っていただけるように読みたくなる議会だよりづくりに努め、議会活動の情報発信にもさらに力を入れてまいります。ご協力ありがとうございました。

広報編集副委員長 高木 智香